

＜地域密着型サービス事業の整備計画について＞

1. 第9期（R6～R8）介護保険事業計画期間中の整備計画について

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）について、3施設のうち1施設が令和7年8月末で廃止となっており、現在、公募により事業者の募集を行っている。

2. 今後の検討が必要なサービス

1）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

令和7年8月までは3施設45床あり、各生活圏域に1施設ずつ整備されていたが、滝野圏域にある施設が廃止となり、2施設27床となっているため、早急に確保する必要がある。

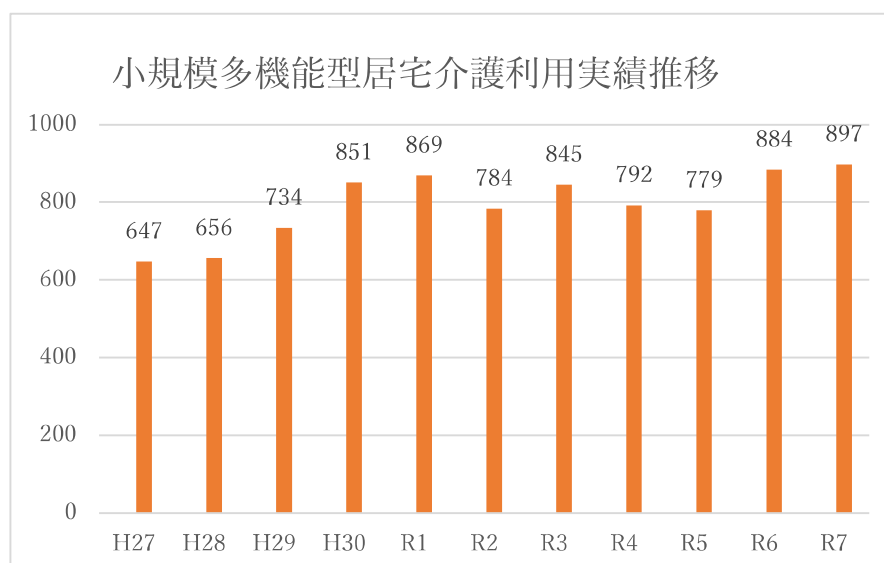
	施設数	定員
社圏域	1	9
滝野圏域	0	－
東条圏域	1	18
合計	2	27

2）認知症対応型通所介護

加東市には1事業所あるが、現在、休止中となっており、今後の状況に応じて適宜検討していく。

3）小規模多機能型居宅介護

加東市には3施設あり、各生活圏域に1施設ずつ整備されている。近年の利用実績は令和元年をピークに減少傾向となっていたが、近年は増加傾向にある。利用者のニーズのさらなる増加も想定されるため、需要に応じて適宜検討していく。



4) 看護小規模多機能型居宅介護

現在、加東市には無いサービスである。看護小規模多機能型居宅介護の利用が必要な利用者があった場合、原則は市の指定区域内となるが、他市の指定事業所など広域利用で検討していく。

兵庫県下 67事業所 (令和8年6月末現在)
うち北播磨 3事業所 (加西市、小野市、三木市)

5) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（定員29人以下の小規模な介護老人福祉施設）

市内の介護老人福祉施設222床のうち地域密着型は1ヶ所20床あります。

地域密着型を含む介護老人福祉施設の受給者は令和8年3月時点で309人と、増加傾向にあります。

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の待機者は令和5年までは、減少傾向となっていたが、令和6年頃から増加傾向となっており、第9期計画において特別養護老人ホームを8床増床したが、高齢化による重度化等に伴い利用者や待機者の更なる増加も想定されるため、今後の利用状況等を踏まえて検討する必要がある。

